

ジェネリック医薬品を活用しましょう！

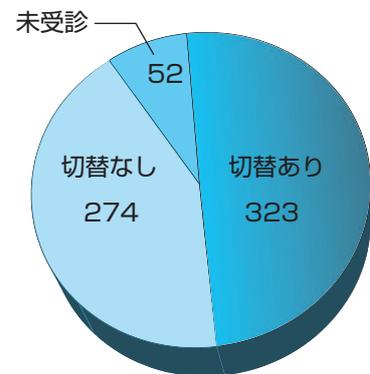
共済組合では、ジェネリック医薬品に切替えることで、300円以上の削減効果が見込まれる20歳以上の慢性疾患により投薬を受けている組合員及び被扶養者の方に「ジェネリック差額通知書」を配付し、ジェネリック医薬品の利用促進を行っております。

去年8月に649人の方に配布しました「ジェネリック差額通知書」の削減効果結果をお知らせします。(平成27年9月診療分～平成28年2月診療分について)

今回の結果としましては、323名(延べ人数)の方が、ジェネリック医薬品へ切替えをされましたが、対象者の医薬品全体の中でジェネリック医薬品が使用されている割合は平均13.60%と低い状態となりました。

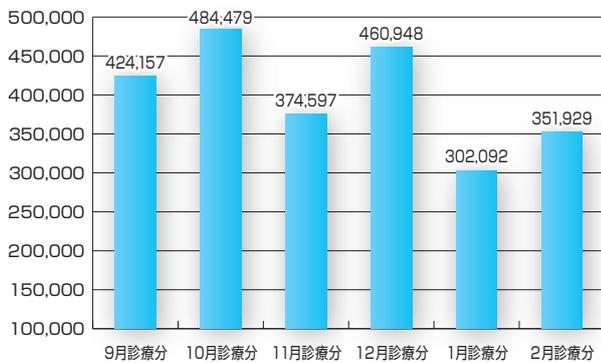
皆さんの自己負担額の軽減、また本組合の短期(医療)財政の改善のため、ジェネリック医薬品を活用しましょう！

切替人数割合(人)



平成27年9月～平成28年2月診療分について

切替可能額(円)



切替可能額・先発医薬品の中で、ジェネリック医薬品に切替が可能な薬剤費

削減額(円)



削減額・先発医薬品からジェネリック医薬品に切替えた結果、削減された薬剤費

	平成27年9月診療分	平成27年10月診療分	平成27年11月診療分	平成27年12月診療分	平成28年1月診療分	平成28年2月診療分	平均
ジェネリック医薬品利用率(※1)	13.13%	12.12%	12.98%	13.20%	16.72%	13.43%	13.60%
削減率(※2)	4.83%	4.19%	4.69%	4.70%	6.65%	6.01%	5.18%
切替可能率(※3)	46.85%	52.25%	47.82%	50.57%	44.33%	49.36%	48.53%

※1 ジェネリック医薬品利用率… 医薬品全体の中でジェネリック医薬品が占める割合

※2 削減率… 先発医薬品からジェネリック医薬品に切替えた結果、削減した割合

※3 切替可能率… 先発医薬品の中で、ジェネリック医薬品に切替が可能な割合

ジェネリック医薬品は、新薬(先発医薬品)と同じ有効成分、同じ効能・効果があり、安全性においても同等の医薬品です。

ジェネリック医薬品は先発医薬品の約2～7割程度の価格となり、皆さんの自己負担額の軽減、また短期(医療)財政の改善につながります。

診察の際に、医師に「ジェネリック医薬品希望カード」、又は平成27年3月より発行の組合員証及び被扶養者証を見せ上手に活用してください。

「自分が使用している薬のジェネリック医薬品はどうしたら分かるの?」
そんな疑問をお持ちなら、下記のサイトにアクセスしてください。

日本ジェネリック医薬品学会ホームページ
『かんじゃさんの薬箱』 <http://www.generic.gr.jp>

